

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長挨拶

就任後半年が経ち、重責を担いながら日々市長の職を務めている。4月から副市長・教育長を迎えた新体制のもと、「強くて優しくて新しい行政」を作っていきたいと思っている。

本協議会は市の重要施策を議論する大変重要な場であり、地域の活性化に向けて忌憚のない活発な意見交換を期待する。

4. 自己紹介

5. 議題

(1) 施政方針について

(三浦市長)

<資料3に基づき説明>

(村井委員)

重点施策2の「学習会や認知症カフェ、チームオレンジへの支援」とあるが、今以上の支援をいただけるのか。

(市長)

全市的に活動を広げていただきたいと思います。活動の拡充をイメージしている。新たに始めたいという要望があれば随時担当課に伝えていただきたい。

(村井委員)

重点項目7に市民との対話として「まちづくりセンターを対話の拠点」としているが、まちづくりセンターに市民を呼んでされるということか。

(市長)

まちづくりの拠点であるまちづくりセンターに出向き、その地域の要望や活動状況、それぞれの実情に応じた形で対話をさせていただきたい。

(佐古委員)

DXの推進は具体的に何をやるのかわからない。ラインに絞るなどの方向性を知りたい。

(市長)

今後、どういったことを具体的にやっていくのかは表現に気を付けながらわかりやすく伝えていきたい。ラインの中に防災やごみ分別などの機能を持たせるなど、皆さんが使いやすいものになるよう研究していきたい。

(佐古委員)

防犯カメラの設置補助は自治会、町内会が対象で、商店街には補助がないため、10年以上経過したものの更新ができない。浜田市の安全のためにも取り組んでほしい。

(市長)

市への防犯カメラの寄付をいただく際には緊急性の高い場所等、警察と相談しながら設置したいと思う。すべてのニーズにお応えできてないところもあるが、商店街からの要望への対応について担当課と共有して検討したいと思う。

(佐古委員)

自治会、町内会の補助金と同じ要綱で良いので、商工労働部門で作っていただくと助かる。

(三浦委員)

浜田市の今年度予算が 400 億円を超える額となっている。財政状況に影響は出ないか。

(市長)

しっかりと中長期的な計画を持って財政運営に努めている。

(三浦委員)

重点施策 3 の「小中学校の適正配置の検討」について、石見小学校の建設計画の見直しを聞いたが、どのくらいの期間を見込んでいるのか。

(市長)

石見小学校の建て替えだけではなく、近隣あるいは市全体の小中学校の考え方を整理した上で、適切な規模で新設学校を作るという議論を進めていくこととしている。石見小学校の老朽化が顕著にあることは認識しているので、スケジュールについては正確なものを案内させていただきたい。

(後藤委員)

DX の推進は高齢者の方は苦手意識があり対応が難しい。高齢者対応のデジタル化をお願いしたい。

(市長)

デジタルを導入する過程で高齢者の方、苦手な方への対応はしっかりとやっていく。既存の窓口サービスをなくすことではなく、申請や支払いの利便性が上がるよう取り入れていくものである。誰一人取り残さないデジタル化を行っていくのでご安心いただきたい。

(後藤委員)

農林業者の後継者不足を聞く。農業者の収入、市の農業収益が上がるような政策に取り組んでいただきたい。

(市長)

ニーズが高まっている有機野菜を推奨作物に追加するなど、生産者の活動支援に後押しができるような制度を作っている。

人材の確保については、農林水産業で学生のインターンシップを促進し、企業を知る場面を作る取組と受け入れる企業側への費用負担の軽減施策を新たに予算計上している。

(後藤委員)

人材育成のところで「こどもたちの声が社会に届く仕組みの構築」をあるが、具体的に

どのような声を聴く場面を考えているか。

(市長)

こどもの権利条例の制定に向けて動き出しており、こどもも大人も年齢にかかわらず権利の主体者であることを認識し、共有していくという条例になる。

その取組の第1弾として第3次総合振興計画の策定過程の中でこどもたちのワークショップを開催する予定でいる。まずはこどもの声を聴く機会をしっかりと作り、こどもにかかわる活動に携わる方や地域で子供の意見を聞く場づくりをされている方の意見を活用しながら取組を進めていきたい。

(後山委員)

「産んで」育てることが少子高齢化、人口減少に歯止めをかけるために大事だと思う。注力する事業を絞り込んで実施いただきたい。

(市長)

第3次総合振興計画を作るにあたり、人口ビジョンを掲げる中で、未婚率などの数字や実態を把握しながら、目標に対して注力すべきところを見極めながら効果的な施策を考えていきたい。「産みたい」を叶えられる環境を整えていきたいと考えている。

(宮木委員)

社会福祉協議会が担っている役割と他の事業者が補完している役割とのバランスはどうなっているか。

また、経営改善について、利益を出さず寄付金だけで成り立たせている収支構造の中で、社会福祉協議会が担う事業コストとそれに伴う収入が釣り合っていないことが問題となっていると思う。指定管理だから、条例があるからできないということで、本当にいいのか疑問を呈したい。

(市長)

社会福祉協議会と社会福祉法人にはそれぞれ役割があり、実態に即した形での施設の管理の仕方になるよう、見直すべきところは見直すべきと思っている。

社会福祉協議会の経営方針については、私が申し述べる立場ではないと思うが、訪問入浴など採算の合わないサービスをどう残していくか、市として協議に参画している部分は一緒になって考えていきたい。

(2) 会長及び副会長の選任について

<会長、副会長について、賛成多数で承認された。>

・会長 新田 哲朗 委員 (新任)

・副会長 磯野 光孝 委員 (再任)

(3) 各種委員の選出について

(原田係長)

<資料4に基づき説明後、新委員について賛成多数で承認された。>

・浜田市総合振興計画審議会委員 村井 栄美子 委員

・浜田市保健医療福祉協議会委員 宮木 竜一 委員

- ・浜田市行財政改革推進委員会委員 長谷川 真美 委員
- ・浜田市上下水道事業審議会委員 佐古 肇徳 委員
- ・浜田市立学校統合計画審議会委員 後藤 敏雄 委員
- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
浜田市準備委員会委員 佐々木 和文 委員

6. その他

＜資料に基づき説明＞

- (1) 地域井戸端会について
- (2) 令和8年度まちづくりコーディネーターについて
- (3) 令和8年度まちづくりセンター職員について